



様式第2号

令和元年11月7日

坂戸市議会議長 様

会派名 みらい
代表者名 小澤 弘



実施報告書

下記のとおり、調査研究等を実施したので報告します。

記

- 1 期 日 令和元年10月23日(水) 午後1時30分～3時30分
- 2 参加者氏名

小澤 弘	大澤初男	内田達浩	田中 栄

- 3 調査研究等の行き先及び内容

行き先	内 容
坂戸市役所 全員協議会室	坂戸市議会議員研修会 「2019・2020のレガシーと本県スポーツの未 来」

- 4 概要
別添のとおり

令和元年度 議員研修会報告書

会派みらい

1. 期日 令和元年 10 月 23 日(水)午後 1 時 30 分～3 時 30 分

2. 研修の内容

講演「2019・2020 のレガシーと本県スポーツの未来」

講師: 埼玉県県民生活部スポーツ局

参与 久保 正美 先生

3. 参加者 4 名全員

小澤 弘、大澤 初男、内田 達浩、田中 栄

4. 結果 (参加者意見・感想)

◎日頃は馴染みないラグビーの講話は、ワールドカップ開催中で、かつ日本チームの快進撃が続いていて盛り上がりを見せており、非常にタイムリーであった。

来年は、オリンピック・パラリンピックに盛り上がりが見込まれる。

ボランティアや本県の取組でホストタウン、埼玉県版ホームステイなどに期待する。

特に、聖火リレーの内容については、坂戸市も関係し今後の対応など参考になった。

残念なところは、時間の関係もありパラリンピックに触れられなかったこと及び元県庁職員の川内優輝選手の動向やオリンピック出場の可能性など聞けたらベターであった。

全体としては、低廉な費用でオリンピックなどの知識を得られたことは、良い研修であった。

◎ワールドカップ招致に際し、ずいぶん前から、いろいろな方面の協力を得て開催に至ったという経緯を知ることにより、今回の素晴らしい大会開催が用意周到になされたのだと、理解できた。細やかな配慮により、日本のおもてなしの心が遺憾なく発揮され、オリンピック・パラリンピックに繋がるものと期待する。

また、県内中学校数・生徒数の推移、中学校 1 校当たりの生徒数の推移、教員数の推移など、グラフ化されたものを見ることにより、県の部活動の在り方に関する課題も見えてきた。本市でも、小中学校の統廃合が進められているが、適切な運営のための体制整備には、今後は、学校区の問題も併せて議論される必要もある。部活動指導員の活用を続けて実施出来るよう、市としてのバックアップも更に必要と考える。

運動部活動の視点から見た学校教育を知る、良い研修であった。